

(3) 下の文章は、2003年6月に神戸大学で開催された国際シンポジウム「多様性の中に循環型社会の未来を探る」(SSDE2003)で採択された宣言文である。これを読んで以下の設問に答えよ。

SSDE2003 神戸宣言

かけがえのない地球環境の価値を大切に考える私たちは、いま神戸に集い地球環境の未来と人類社会の持続に向けて宣言する。

1) 物質循環から、いのちの循環へ

20世紀文明の反省から、今日論議されている物質循環のみならず、海や川や大気 of 自然な循環が持つ仕組みに敬意をはらい、その再生と持続を重視し、それを基盤にしたいのちの循環を大切にしなければならない。

2) 多様な試みの必要性

持続可能な社会をめざす生活と技術の追求は、多様な地域、分野、あらゆる社会的主体にその工夫と実践の役割があることを確認し、試行と経験、知見を世界的に交換し相互に検証し、成果を共有することが重要である。

3) 地域の知恵と科学の知識の融合

地域や環境との関わり方を探求するに際しては、地域の知恵と科学の知識を融合した新しい方策の構築を持ってあたるべきである。

4) 環境への取り組みの新しい作法

これらを実現するために、生活文化と結びついた価値観と環境倫理、すなわち環境への人間の新しい作法を、ゆっくりと築き上げてゆきたい。

(設問) 「地域の知恵」とは、伝統的な経験に基づく自然の利活用の技術と知識の体系を意味する。宣言の中で、持続可能な社会の形成のためには科学技術だけでは不十分であり、地域の知恵と科学の知識とを融合させるべきであることが謳われている。なぜ両者の融合が必要とされるのか、理由を推察して述べよ。